

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 安全安心課	課長	加藤 宏之
----	-------------	----	-------

課の運営方針
○業務遂行にあたっての基本的なスタンス ・市民要望を常に考え、可能な限りこたえられるように努力する。 ・重点事業 窓口・電話接遇全般 ・目 標 市民の方には、迅速な対応を心がけ、市民目線の親切な対応をする。 ○課員に求める必要な心構え ・担当する職務の垣根を越え、協力しながら全体で事業等にあたる。 ・常に問題意識を持ち、業務改善を心がける。 ・現場を確認し迅速な対応を心がける。 ・課内、係内の意思疎通を密にし、誰もが同じレベルの処理・対応を行う。

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている
○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
△…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
防犯対策	・街なか防犯カメラ増設による犯罪抑止力の強化 ・家庭用防犯カメラ設置費に対する補助 (犯罪抑止力強化) ・犯罪発生を抑止のためキャンペーンを実施 ・駐輪、防犯指導のため、自転車盗難等防止対策事業を継続 ・通話録音機能付電話機購入に対する補助(振り込め詐欺被害防止)	犯罪発生件数(自転車盗)の減少	◎	・犯罪発生件数(自転車盗含む)は前年減となった。 (R6:614件でピーク時であった平成15年の5分の1) ・家庭用防犯カメラ設置費補助事業開始(申請102件) ・街なか防犯カメラ60基増設 ・通話録音機能付電話機購入費補助申請件数86件
自治振興	町会長連絡協議会と協働による町会活動の周知	町会活動への支援と町会加入世帯数の増加	○	町会長連絡協議会と連携し、町会加入促進チラシ作成支援、デジタル化支援を進めたが、町会加入世帯数は減少(R6:24,903世帯で前年度比-66件)

交通安全推進		・スケアードストレイト教育技法による交通安全教室の実施 ・交通安全意識啓蒙活動キャンペーンの実施 ・高齢者の運転免許証自主返納奨励施策の実施 ・自転車用ヘルメット購入費補助金及び各種啓発を通じて、自転車ヘルメット着用の促進	・人身事故件数の減少 ・年度中の交通死亡事故ゼロ ・自転車関連交通事故死傷者数の減少 ・自転車ヘルメット着用者の増加	△	・街頭活動、交通安全教室などを通じて啓発を図ったが、人身事故件数は132件で前年比21件増加(R6:111件) ・交通死亡事故0件 ・自転車関連死傷者数は47人で前年比12人増加(R5:35人) ・運転免許証自主返納件数276件(R5:186件) ・自転車ヘルメット補助件数604件(R5:1,021件)
災害対策	災害予防対策事業	・市民に向けて防災意識や避難行動について啓発 ・非常用物資の備蓄	・各種広報媒体や出前講座などを通じて、市民の皆さんへの啓発を図る。 ・平常時から非常用物資を確保しておくため、計画的な備蓄及び管理を推進するとともに、より有用な防災用品の情報やその備蓄数量、備蓄方法などについても研究を進める。	◎	・広報紙や行政広報番組や出前講座のほか、チラシの全戸配布、各種訓練などを通じて啓発 ・計画的に行政備蓄に取り組んだほか、各自主防災会によるご協力の下、トイレ処理セットの共同購入を実施し、各家庭や自主防災会においても、計1万4,795回分のトイレ処理セットの備蓄が進むこととなった。 ・行政備蓄の管理が、大きな課題となっているため、その方法等について、引き続き調査していく。
	自主防災組織育成事業	・自主防災組織の災害対策用資機材購入に対する交付金の交付 ・自主防災組織リーダーの育成 ・避難所運営訓練及び避難所運営協議会の継続的な実施	・自主防災組織による防災訓練の実施を支援 ・蕨防災士会とともに災害図上訓練等を実施し、自主防災組織リーダーを育成 ・より実践的な避難所運営訓練を実施 ・指定避難所全19か所に設置した、避難所運営協議会を継続的に実施	◎	・蕨防災士会とともに、市民向けの講義や災害図上訓練を実施 ・蕨高等学校で避難所運営訓練を実施 ・指定避難所全19か所における避難所運営協議会を実施した。令和6年度は、蕨市防災士会にご協力いただき、災害時初動対応訓練を実施した。 ・災害対策用資機材購入に対する交付金事業を継続的に実施
	防災施設等の整備	防災行政無線の整備	防災行政無線の難聴地域の聞こえ方を改善するため、わらびりんご公園、三和稲荷公園、あづま公園及び金山公園に子局を設置。	◎	予定していた4か所への子局の増設により、聞こえ方の改善が図られた。

	関係団体との災害協定	関係団体と災害協定を締結	災害発生時等における各種応急復旧活動に関する人的・物的支援について、関係団体からの協力を得る。	◎	3つの協定を締結 ・「災害時における相互応援に関する協定」山梨県笛吹市 ・「福祉避難所の開設及び運営に関する協定」社会福祉法人畏敬会 ・「福祉避難所の開設及び運営に関する協定」特別養護老人ホーム いきいきタウン蔵
危機管理	国民の保護のための措置	国民保護に関する蕨市計画の改訂	国の基本方針や県の計画等を踏まえ、国民保護に関する蕨市計画を改訂	◎	国の「国民保護に関する基本方針」や県の「国民保護に関する埼玉県計画」との整合を図るため、「国民保護に関する蕨市計画」の内容を変更
環境対策		・第3次環境基本計画の施策の推進 ・市民・事業者へ地球温暖化対策設備等設置費補助金の周知・交付 ・ふれあい収集の実施 ・折りたたみ式燃やすごみ回収BOXの試験的導入 ・飼い主のいない猫に対し、不妊・去勢手術を受けさせた市民に対し、1頭当たり不妊手術6,000円・去勢手術4,000円の補助金を交付する。(飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金交付事業) ・たい肥化による生ごみの有効活用(花苗交換事業)	・脱炭素社会の実現に向け、昨年度末に制定した第3次環境基本計画に示した施策を計画的に推進する。 ・再生可能エネルギーを活用した地球温暖化対策に有効な設備の普及促進(市民に加え、事業者も新たに拡大) ・自力でゴミ出しが困難でひとり暮らしの高齢者宅のゴミの戸別収集を実施する。 ・カラス対策として、折りたたみ式燃やすごみ回収BOXを各町会に1台、試験的に導入する。 ・飼い主のいない猫への手術に対する補助金交付事業を関係団体の協力を得て実施する。(予算措置40頭分) ・たい肥と花苗交換事業参加者の増加	◎	・地球温暖化対策設備等設置費補助金は、件数108件(前年比+6件) ・ゼロカーボンシティ宣言を実施 ・カーボンオフセット事業として、片品村と連携した森林整備を実施 ・プランターファームinわらびを実施(プランターキット配布&フォトコンテスト) ・ふれあい収集の実施 利用世帯数 45件(R7.3月末時点)(前年比+16件) ・折りたたみ式燃やすごみ回収BOX市貸与分151台、町会独自購入388台設置 ・生ごみたい肥と花苗交換事業は、参加56世帯(前年比+2世帯) ・飼い主のいない猫への手術補助金は、5件(前年比-4件) ・ペットボトルキャップと花苗交換事業については、年3回実施(6月・10月・2月)

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 商工観光課	課長	松永 祐希
----	-------------	----	-------

課の運営方針
・「蕨市中心市街地活性化プラン」に基づき、まちのにぎわいづくりや空き店舗対策などの推進に向け、蕨商工会議所や蕨市にぎわいまちづくり連合会、蕨ブランド協会、各商店会等と連携を図り積極的に取り組む。 ・事務事業の円滑な推進のため、業務に関する情報の共有に努め、共通認識をもって仕事を進める。 ・業務全般については、先を見据えた対応を取るとともに、問題意識を持って取り組む。 ・令和5年度をポストコロナ元年と位置付け、住民との交流事業（審議会等の対面開催含む）を積極的に再開していく。（市民生活部各所属、コミュニティ・センター共通事項）

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
中心市街地活性化	中心市街地活性化プランの推進 ①エリアリノベーション事業 ②にぎわい創出事業 ③経営体質の強化事業	①（仮称）蕨市エリアリノベーション推進協議会を設置し、サブリース等の手法を取り入れて、空き店舗対策を推進するほか、新たな交流拠点の整備を図り、新たな回遊性としにぎわい創出の取り組みを進める。 ②「わがまちにぎわいプロジェクト事業」として、出張商店街やワンコイン商店街のほか、蕨市が舞台の女子サッカーアニメ「さよなら私のクラマー」とのコラボ企画など、各種ソフト事業を拡充。また、地域資源を活用した蕨ブランド認定品の育成・創出に努める。 ③既存店舗の経営体質強化を図るため、経営分析や事業計画の策定のほか、販路拡大等、計画的な経営への取り組みを支援し、既存店舗を繁盛店に生まれ変わらせ、当該エリアのブランド力・魅力を高める。	◎	①令和6年度は、市と蕨商工会議所、埼玉りそな銀行、不動産業者の㈱ジェクトワンの4者により、「空き店舗等の有効活用等の促進に関する協定」を締結し、新たな空き店舗対策の取り組みをスタートさせた。また、にぎわい交流拠点の整備に向けて、仮設庁舎跡地の利活用を進めるための基本計画を策定した。 ②市内商店の魅力を知ってもらうための取り組みとして、商店の方を講師に招いて行う体験型講座「知って得するワンポイントゼミナール」の開催した。また、市役所イベントスペースでキッチンカー出店の実証実験を行ったほか、夕暮れ市や蕨市役所マルシェなど、市民団体との連携による新たなイベントを実施した。 ③国の補助金を受けるための経営革新計画や、新型コロナウイルスの影響を受けている事業者が、国の事業再構築補助金を受けるための計画策定を支援。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
商工業活性化支援	①蕨ブランドのPR ②住宅改修資金助成(リフォーム助成)制度の実施 ③創業支援 ④商店街活性化事業に対する支援 ⑤空き店舗有効活用事業に対する支援 ⑥蕨市魅力ある店舗づくり支援事業 ⑦女子プロサッカーリーグ「WEリーグ」との連携	①蕨ブランド認定商品を市内外へ積極的にPRし、市のイメージアップにつなげる。 ②住宅改修資金助成(住宅リフォーム助成)制度を推進し、市内経済の活性化を図る。 ③蕨商工会議所と連携し、創業講座や個別相談を開催するなど、市内での創業を目指す方々を支援する。 ④商店街が行う各種活性化事業を支援する。 ⑤空き店舗有効活用事業補助金制度の見直しを図り、蕨ブランド協会を中心とした空き店舗対策に努める。 ⑥蕨市魅力ある店舗づくり支援事業補助制度を活用し、地域課題の解決や、集客力の向上及び売上の増加を図る取り組みを進める店舗を支援する。 ⑦女子サッカーを応援するまち蕨として、女子サッカーの魅力を発信する取り組みや、まちのにぎわいづくりにつなげていく。	◎	①蕨ブランド認定品を多くの方にご提供いただき取り組みとして、市内外のイベントに出店したほか、大宮駅前のイベント会場「まるまるひがしにほん」での販売会を実施した。また、令和6年度は新たに戸田ボートレース企業団主催のサンクスフェスティバルにも出店した。 ②住宅改修資金助成制度に32件の申請、2,542,000円の補助金を支給した。総工事費は約7,102万円となり事業効果は27.94倍であった。 ③埼玉りそな銀行との共催により、創業セミナーを実施 ④商店街のスピーカー修繕を実施 ⑤令和6年度の空き店舗有効活用事業補助金制度の活用は6店舗 ⑥蕨市魅力ある店舗づくり支援事業補助金制度をスタートし、令和6年度は申請11件約282万円の補助金を支給 ⑦WEリーグのチーム「ちふれASエルフェン埼玉」とのサポータータウン協定に基づき、プロ選手と児童との交流会や「WEリーグ応援ツアー」を実施
中小企業支援	新型コロナや物価高騰の影響を受けている事業者への支援	国、県が実施する経済対策に関し、市内事業者へ速やかに情報提供を行うほか、状況に応じて市独自の支援策を実施する。	◎	・国、県が実施する経済対策支援事業の情報提供を市HPを通じて行った。 ・令和7年1月臨時議会にて、PayPayプレミアム付きデジタル商品券事業の実施についての承認を受け、令和7年度に事業を実施するための準備を進めた。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
観光振興	機まつり等、観光イベントの開催	蕨の魅力を発信する苗木市・藤まつり(4月)、あさがお・ほおずき市(7月)、機まつり(8月)、宿場まつり(11月)について、安全面等に配慮しながら実施していく。	◎	各祭りを通常開催
農業振興	①わらびりんご推進事業 ②安全安心な蕨産野菜の提供や、自然と触れ合う場の確保	①群馬県片品村の農家と連携し、地域資源である「わらびりんご」の生産拡充を図るほか、生産管理団体と協力し、新たな商品開発にも取り組むなど、「わらびりんご」によるシティプロモーションを推進する。 ②園芸祭と園芸品評会の開催のほか、学校給食センターと連携し、児童生徒へ蕨産野菜のメニューを提供する。また、ファミリー菜園を整備し、多くの市民に土に親しんでもらう。	◎	①わらびりんご商品化第3弾として、「わらびりんごようかん」販売を開始した。続く商品化に向け「わらびりんごジャム」・「わらびりんごワイン」を試作した。 ②園芸品評会の開催のほか、蕨産野菜によるメニューを学校給食で取り上げていただいた。また、JAさいたまによる農産物販売を市役所イベントスペースにて実施した。
勤労者支援	勤労者や事業者に対し、より良い職場環境づくりに役立つ知識の提供	働き方改革関連法が施行され、労働をめぐる様々な問題が注目されていることから、労働関係の身近な問題をテーマにして、より良い職場環境づくりに役立つ知識を提供するセミナーを開催する。	○	新型コロナ禍より、ネット配信による労働セミナーを埼玉県の主催により実施。市では情報提供を行った。

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 市民課	課長	岡田 陽一
----	-----------	----	-------

課の運営方針
・住民基本台帳事務、戸籍事務、国民年金事務、個人番号カード交付事務について職員研修を実施し、解決すべき事案を速やかに検討し、情報共有を行い適切な窓口サービスが提供できるよう努める。 ・個人情報を守る責務があることを職員一人ひとりが認識し、住民票の写し等の証明発行業務、外部内部を問わず問い合わせ等には十分注意を払い、個人情報の保護を徹底する。 ・窓口で、笑顔での挨拶や身だしなみ、言葉づかいや態度などに気をつける。また、相手の話をよく聞き、相手の立場に立って分かりやすい説明をすることにより手続をスムーズに行い、来庁した方に満足していただけるよう努める。 ・多言語対応の申請書や「やさしい日本語」等を使用して外国人住民にもわかりやすい説明ができるよう職員のスキル向上を図る。 ・申請受付から手続完了までにかかる時間を短縮するため、職員一丸となって効率的に業務を行い、窓口の混雑緩和を図る。特に個人番号カードの交付枚数が増加しているため、交付窓口体制の充実を図る。

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている
○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
△…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
住民基本台帳事務における支援措置	ドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等の被害者保護のため、関係各課と連携を図り、支援措置対象者等の住所の漏洩を防ぐ。	支援措置対象者等の個人情報の保護を徹底する。	◎	ドメスティック・バイオレンス及びストーカー行為等に個人情報等が利用されないよう関係各課と密接に連携を行った。住民票の写しや戸籍の附票の写し等の取扱い、住所の問い合わせには応じない等、住所が漏れることのないよう職員に徹底し、支援措置対象者等の個人情報の保護に努めた。
正確でスムーズな窓口構築	職務能力の向上及び庁舎外で対応可能な手続きの周知	庁舎内設置の交付機の案内及び利便性の周知によりコンビニ交付の利用拡大を図る。	◎	ホームページでコンビニ交付の周知を図り、庁舎内設置の交付機については使用方法を個別に案内した。
戸籍の振り仮名登録に係る準備	令和7年度に振り仮名の通知及び届出受付を開始するための各種準備	システム改修、プロジェクトチーム等体制整備の検討	○	国庫補助の範囲が当初の通知にかかる部分のみであったことから、受付や入力作業については委託せず、職員増で対応することとした。

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 市民協働課	課長	倉石 尚登
----	-------------	----	-------

課の運営方針
・市役所の総合窓口として、来庁者の立場になり、親切で丁寧な対応を行う。 ・業務改善を常に意識し、できる改善はすぐに実行する。 ・業務上の課題は、課内で共有し、議論して解決する。 ・自己研さんに努め、質の高い業務遂行に努める。 ・わらびネットワークステーションの充実を図り、市民活動を活発化し、協働のまちづくりを進める。 ・男女共同参画の意識の高揚と推進体制の充実を図る。 ・日本人住民と外国人住民との相互理解を図り、ともに豊かに生きることのできる多文化共生のまちづくりを進める。

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている
 ○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
 △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
 ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
市民相談事業	市民生活における多種多様な問題に寄り添い、その解決を導き出し、安心・安全な市民生活の増進を図る。	・各種相談の周知及び活用を推進する。 ・身近な事柄を気軽に相談できる環境づくりに努める。 ・外国人住民の相談対応の推進を図る。	◎	各種相談を前年並みの1,000件程度実施し、相談者の要望に可能な限り応じることができた。また、配偶者暴力相談支援センター及び外国人総合相談窓口の周知の拡充を図り、被害者支援の強化と外国人住民に対する暮らしのサポートを充実させた。
SDGs推進事業	市民活動団体等が、市と協働で社会や地域の課題解決を目指す事業に対して補助金を交付し、市民の主体的な活動により、安全安心で快適なまちを推進する。	・制度の周知・啓発を進め、市民や各種団体が社会や地域の課題に積極的に関われる環境づくりを進める。 ・SDGs推進事業終了後も、団体独自で事業が継続できるよう、活動支援に努める。	○	指定テーマの「Smart Wellnessわらび～健康で幸せなまちづくり～」を含め、4つの事業が成功裏に実施できた。また、事業名をSDGs推進事業として、地域課題の捉え方をより明確になり、多くの関心を集め、事業提案につなげることができ、環境に関わる団体の創設にも寄与した。
男女共同参画事業	一人ひとりの人権やジェンダー平等についての認識や理解を深める取り組みを進め、性別にかかわらず、その個性と能力を発揮し、誰もが平等な立場で、あらゆる分野に参画できる男女平等参画社会を目指す。また、DVに関する相談や被害者の支援や自立に向けた情報提供や援助等を行う。	・第3次蕨市男女共同参画パートナーシッププランに基づき、誰もが平等で自分らしく活躍できる蕨を促進する。 ・男女共同参画地域推進事業及び同セミナーを社会情勢等に見合ったテーマ等を的確に捉えて開催し、男女共同参画に対する意識の高揚を図る。 ・第3次DV防止基本計画に基づき、きめ細やかな支援を継続する。 ・パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の啓発及び行政サービスの拡充を図る。	◎	第3次蕨市男女共同参画パートナーシッププランに基づき、コミュニティ委員会との連携で、ジェンダー平等に関わる理解を深めるとともに、啓発紙パートナーの発行、男女共同参画啓発パネル展、男女共同作品募集事業において、男女共同参画に対する意識の高揚を図った。また、パートナーシップ・ファミリーシップ届出制度の自治体間連携を進め、人権の尊重及び多様性への理解を進めることができた。なお、DV相談においては、啓発に努めながら相談者の適切な支援に努めた。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
人権啓発事業	お互いを尊重する心を育み、人権意識の高揚を図りながら市民の人権擁護を推進する。	・人権擁護委員による人権相談、人権教室の開催及び啓発活動を同委員と連携して推進する。 ・人権の花運動を実施する。	○	人権の花運動は、前年と同様に公立小学校との協働で実施し、人権に対する意識の醸成と理解を深めることができた。なお、人権教室はスケジュール調整が頓挫し未実施となったが、外国人住民への人権尊重の啓発や人権相談を人権擁護委員と連携して実施するなど、人権尊重社会を推進した。
多文化共生事業	国籍や民族などの異なる人々が、多様な価値観を認め合いながら、ともに学び・働き・安心して暮らせる地域づくりを推進する。	・多文化共生指針に掲げた主な取り組みを着実に実施する。 ・市民との協働で、日本人住民と外国人住民との交流事業を開催し、相互理解を図り、多文化共生社会を推進する。 ・外国人総合相談窓口の周知・利用促進を図り、外国人住民への適切な行政サービスの享受等暮らしの安全・安心を推進するとともに、履行すべき義務の内容及び地域社会のルール等の理解を深める。	◎	多文化共生推進市民懇談会及び行政連絡会を開催し、指針の取り組みの検証等を実施するほか、「外国人生活ガイドブック」をHTML形式で掲載し、243言語の翻訳を可能とした。また、住民交流事業「みんなの広場」を開催し、互いの文化を通じて日本人住民との交流を育んだ。外国人総合相談窓口については、周知に努めることで利用者の増加につなげ、外国人住民の行政手続きの円滑化などを促進した。

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 医療保険課	課長	大山 麻美子
----	-------------	----	--------

課の運営方針
・国民健康保険制度・後期高齢者医療制度の安定的運営への取り組み 制度の健全な運営に向け、制度の内容や保険税(料)などに関する市民の理解促進に努めるとともに市民満足度の高い窓口対応を心掛ける。 ・保健事業への取り組み 生活習慣病の早期発見・早期対応・重症化予防を図るため特定健診の受診率向上を図る。 ・医療費適正化への取り組み 第2期データヘルス計画(令和6～11年度)に基づき、医療費適正化対策に取り組んでいく。

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている
○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
△…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
健康診査事業	・市民の健康増進と医療費の抑制を図るため、生活習慣病の一つである内臓脂肪症候群の該当者及び予備軍の減少に着目した健診を実施する。 (対象者) ・40歳以上の国保被保険者 ・後期高齢者医療被保険者	・受診率の向上 (前年度よりも上昇) ・受診意欲を高めるため、啓発活動の実施	○	・受診率は回復せず、県平均を下回った。(国保) ・回復傾向にはあるが、コロナ禍前には至ってない。(後期) (国保 受診率(令和5年度)) 38.1%(対前年度比 1.1^{ポイント}減) 県内平均(40.4%) (後期 受診率(令和5年度)) 42.7%(対前年度比 1.2^{ポイント}増) 県内平均(34.3%) ・特定健診早期受診キャンペーンの実施 ・受診勧奨通知の送付 ・SMS勧奨の実施 ・ポスター掲示(公民館、市内健診機関など)

医療費適正化	【ジェネリック医薬品利用促進】 (国保) ジェネリック医薬品に切り替えた場合に、自己負担額が一定額以上削減する方に、差額通知を送付する。 【糖尿病性腎症重症化予防対策】 (国保・後期) 糖尿病性腎症等の通院患者のうち重症化するリスクの高い方に対する保健指導を、国保と後期において切れ目なく実施する。	【ジェネリック医薬品利用促進】 ジェネリック医薬品の数量シェアの向上 (前年度よりも上昇) 【糖尿病性腎症重症化予防対策】 重症化予防対策における保健指導においては、各々選定対象者の10%程度を実施目標人数とする。	◎	【ジェネリック医薬品利用促進】 ・数量シェア88.6%(令和7年2月審査分) (対前年比 4.8^{ポイント}増) ・数量シェアは、前年増を達成。ジェネリック医薬品希望シールを被保険者証更新時に同封するなどの取組みを通じ、国の数値目標である80%を上回ることができた。 【糖尿病性腎症重症化予防対策】 ・参加者数及び選定対象者に対する参加率(R6) (国保) 14人(36.8%) (後期) 9人(45.0%)
保険証廃止への対応	・現行の健康保険証の発行は令和6年12月2日で終了し、保険診療は健康保険証として利用登録したマイナ保険証を基本とする仕組みに移行することになった。 ・すべての被保険者が安心して医療にかかれるよう適切に準備を進めていく。	マイナ保険証の利用登録率の向上 (前年度よりも上昇)	◎	職員によるマイナ保険証への利用登録支援を当課設置の端末にて実施した。 【マイナ保険証:登録率】 (国保) R6.2月 43.4%→ R7.2月 50.7% (後期) R6.2月 43.9%→ R7.2月 60.7% 【マイナ保険証:利用率】 (国保) R6.1月 5.2%→R6.12月 26.5% (後期) R6.1月 2.2%→R6.12月 22.4%

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 中央コミュニティ・センター	所長	鈴木 啓文
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
・中央地区の各町会や各種地域団体、関係機関と連携を図り、コミュニティ活動を進める。 ・親切で公正・正確な窓口対応を目指す。 ・安全できれいな施設管理を目指す。 ・将来を見据えた施設や事業の運営をはじめ、団体との接点などの在り方・方向性について検討を重ねる。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
- …目標をおおむね達成し、事業を進めている
- △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
- ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
コミュニティ委員会活動	コミュニティかわら版の発行、青少年健全育成をはじめ、各種の関連事業、民生委員との協働による地域の子どもの見守り活動などを行い、コミュニティ活動を推進する。	各種事業を通じて各地域団体の連携を図り、住みよい地域づくりを進める。	○	コロナ禍の制限がなくなったものの、ここ数年の活動停滞の影響は大きく、全ての事業を同時に再開させることは困難であり、かわら版発行や委員研修などの内部向け事業は見送りとなった。令和6年度は子どもたちと地域のふれあいを取り戻すことを目標に、主に青少年育成事業に注力した。
青少年の健全育成	「親子ふれあい会」などを通して親子や地域住民同士の交流を図る事業を行う。	・「親子ふれあい会」などの親子や地域の交流を図る事業の実施 ・子ども実行委員の育成及び活動の場の充実	○	「親子ふれあい会」は7月の「親子でグラウンドゴルフ大会」と2月の「こども防災ひろば119」を、「青少年を考える集い」は10月に「ハロウィンワールドin WARA BI」を開催した。これらの事業には多くの親子や地域の大人が参加し、交流を図ることができた。また、事業の運営には子ども実行委員が関わり、小学生の地域参画を進めることができた。

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 勤労青少年ホーム	所長	鈴木 啓文
----	----------------	----	-------

課の運営方針
・さわやかで正確な対応、安全、きれいな施設管理を行う。 ・職員間の情報を整理・共有化する。 ・将来を見据えた施設や事業の運営をはじめ、利用者・団体との接点などの在り方・方向性について検討を重ねる。

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている
○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
△…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
勤労者福祉の充実	勤労青少年を対象とした余暇活動、趣味活動、仲間づくりの支援として、施設の貸し出しを行う。	多くの勤労青少年が利用できるように、情報の発信など工夫をしながら運営をする。	○	登録者への施設の貸出を中心に行っている。公民館報やホームページなどを通じて定期的に施設のPRを行っている。 登録者数は平成28年度以前は100人前後を維持していたが、29年度の耐震工事や令和元年度のエレベーター設置工事による休館、2年度以降のコロナ禍の影響により、大幅に減少している。

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 塚越コミュニティ・センター	所長	岡本 啓太郎
----	---------------------	----	--------

課の運営方針
・各種住民サービスの質的向上を図りながら、創意、笑顔、協働、効率な業務を遂行し、地域住民の親近感と信頼関係を育むコミュニティ・センターとする。 ・コミュニティ事業をととして、地域住民の交流と連携の強化を進める。 ・塚越コミュニティ委員会の3つの重点目標(「安全で安心して住める地域づくり」、「地域で子どもを見守り育む」、「男女共同参画まちづくり」)を地域住民と協働で推進し、市民生活の場における人間相互の連携と融和の意識高揚を図り、地域の愛着を高める。

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている
○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
△…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
蕨市民公園桜まつり	地域住民が企画・運営し、各団体等の催しをととして、市民交流と郷土愛を育む。	誰もが楽しめる塚越地区のイベントとして開催し、まつりをととした交流の中から郷土愛を育むとともに、住民の地域デビューの契機を促す。	◎	満開の桜のもと「蕨市民公園桜まつり」を開催し、塚越地区の各種団体や地域住民と交流を図り、地域コミュニティを活性化させることができた。
平和事業	平和に関する様々な催しをコミュニティ委員会が中心となって実施し、平和の大切さを地域ぐるみで考える。	地域住民や団体が事業主体の一員として参加し、平和に対する様々な事業をととして、幅広い世代の方たちに平和の尊さ・大切さ、平和を愛する心を育む。	◎	夏季に『平和之母子像清掃』『平和を願うパネル展』の他、『平和のミニコンサート・すいとん試食会』を実施することができた。
男女共同参画講演会	男女が個性と能力を十分に発揮できる社会を地域住民で学び、推進する。	男女の人権が尊重され、社会経済情勢の変化に対応できる豊かで活力ある地域社会の実現を図る。	◎	蕨市男女平等推進市民会議と共催で「選択的夫婦別姓制度」についての講演会を開催し、男女共同参画についての理解を深めることができた。

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 南町コミュニティ・センター	所長	萬年 祐次
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
・南町コミュニティ委員会による防災防犯活動や青少年活動支援、地域連携事業などを通じて地域住民と協力し合い、地域に根ざした親しまれるコミュニティ・センターを運営していく。 ・きれいで安全な使いやすい施設にするため、管理、環境整備に努める。 ・地域住民が気軽に楽しく利用できる環境づくり、親切・丁寧・正確な窓口及び電話対応を行う。また、業務遂行にあたり、問題意識を高く持ち、地域のニーズに応えるべく先を見据えた対応に努める。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
 ○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
 △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
 ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
コミュニティ委員会活動	コミュニティだよりの発行、地域防犯パトロールの実施、新入学を祝う集いの開催、子ども会育成会・スポーツ協会南町支部の活動支援などを行い、南町地区のコミュニティ活動を推進する。	各種事業を通じて、子どもから高齢者までの幅広い世代の地域住民が地域に愛着を持ち、お互いに協力し合うことで、安全で安心な住みよい地域づくりを進める。	○	昨年度に続き今年度もコミュニティ委員会主催の囲碁将棋大会を実施した。スポーツ協会南支部主催事業の球技大会、支部体育祭も実施できた。子ども会育成連合会主催事業は、みなみまつりは雨天中止となったが、かるた大会は今年度も実施した。また、コミュニティだよりの発行や夏季冬季の2回の地域防犯パトロール、行田へのコミュニティ視察など実施することができた。
防災関連事業	地域防災の推進を図るため、南っ子防災キャンプや地区防災訓練などの防災事業を実施する。	コミュニティ委員会を中心に風水害や地震災害など、ケースごとの災害に、より実践的に対応できるようになるための効果的な事業を実施することで、地域の安全安心への取り組みが向上するよう努める。	○	南っ子防災キャンプは未実施となったが、こども会主催で小学生による南町コミュニティセンターの宿泊体験を実施し、翌日に南町が重点地区である市の防災訓練に参加した。避難所運営協議会は研修会が実施できた。また、コミュニティの視察を実施し、コミュニティ委員間での顔の見える関係づくりができた。

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 錦町コミュニティ・センター	所長	荒川 恵子
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
・親切、丁寧で迅速な対応を心がけ、地域に親しまれるコミュニティ・センターの運営を行う。 ・安全できれいな施設管理、環境整備に努める。 ・錦町コミュニティ委員会の活動を通じて地域住民と協力し、住み良い地域社会を目指す。 ・コミュニティ・センター移転建替えに向けた基本的な方針の検討を行う。

達成状況

◎…目標どおり、事業を進めている
○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
△…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
コミュニティ委員会活動	錦町地区の関係団体、関係機関と連携し、平和事業や子どもの見守り隊等を行いコミュニティ委員会活動を推進する。	コミュニティ委員会と地域住民、各団体と連携して住民主体の事業を実施することにより、地域力の発揮と拡大、コミュニティ委員会の活性化を図る。	◎	コミュニティ委員会と地域住民、各団体と連携した事業の開催。また、地域企業からも支援・協力をいただくなど連携を図ることができた。
青少年健全育成事業	ジュニアリーダー会の育成、小学校3年生一泊キャンプなど、錦町地区青少年健全育成推進委員会と協働して、地域ぐるみで青少年の健全育成を図る。	ジュニアリーダー会の活動を支援し、青少年の健全育成を図るとともに、社会活動の場の提供を促進する。	◎	西小学校3年生一泊キャンプを開催し、ジュニアリーダー活躍の場を提供する事ができた。また、生涯学習フェスティバル、子どもふれあい祭りの他バスハイクも実施しジュニアリーダー会の活動を支援した。
施設整備事業	コミュニティ・センターの移転建替えに向け、施設整備の在り方について、基本的な方針の検討を行う。	地域住民や利用者と連携を図りながら、移転建替えに関する調査研究を行う。	◎	整備検討委員会を設置し、利用者アンケートの結果を踏まえた基本計画を策定した。基本設計においても、ワークショップを開催するなど利用者意見を取り入れた設計を行うことができた。

令和6年度 課長方針 検証

部課	市民生活部 北町コミュニティ・センター	所長	桑島 勝彦
----	---------------------	----	-------

課の運営方針
・地域に親しまれるよう、親切・丁寧な住民サービスに努め、気軽に利用してもらえよう、明るくきれいなコミュニティ・センターとしての環境整備を図る。 ・「コンパクトシティ版」将来ビジョンⅡに掲げるとおり、コミュニティ活動への支援をはじめ、各町会や婦人会・子ども会など、地域力を活かしたまちづくりを進める。 ・公民館・体育館・児童館の複合施設である当センターの特性を最大限活用し、施設全体でバランスの取れた事業を実践する。

達成状況

- ◎…目標どおり、事業を進めている
 ○…目標をおおむね達成し、事業を進めている
 △…事業を一部進めているが、目標の達成には至っていない。
 ×…事業の実施に向け検討中。未達成。

主要事業			令和6年度主要事業の検証	
事業名	事業内容	目標	達成状況	取組み内容
春が来たコンサート	コミュニティ委員会をはじめ、北町地域の皆さんが企画するコンサートを通して、新小学1年生児童をお祝いする。	北町地域で新小学1年生になる子どもたちを地域でお祝いする。コンサートを通じ、地域の人々の世代を越えた交流が生まれ、地域の活性化につながっていくことを期する。	◎	コミュニティ委員会をはじめ、地域住民で組織する実行委員会が北町地域の新小学1年生を祝う事業である。3月23日(日)に開催し、参加者は、新小学1年生と保護者等を合わせ660人(うち新小学1年生は15人)であった。出演団体は、北四はやし会ほか、北町公民館利用団体等3団体であった。
花いっぱい活動	北町コミュニティ広場の一角にある花壇に、年間を通して様々な花を植える。	地域の憩いの場を確保するとともに、防犯等の二次的効果を生み、住みよい地域づくりを推進する。	◎	月1回定期的に花壇の整備を行っているほか、北コミプラザの補修等も積極的に行うなど、地域の環境美化に努めた。
北町コミュニティ祭り	公民館・体育館・児童館の利用団体や子ども会、地域女性団体等が一体となって、日頃の学習成果発表会や模擬店出店、子ども向けイベント等を行う。	お祭りを通じて地域の活性化を図ることはもちろんのこと、北町地域の様々な方・団体が一堂に会し、イベントの企画・運営をすることで連携を深め、地域コミュニティの強化や生涯学習の推進を図る。	◎	コミュニティ委員会を中心に実行委員会を組織し、地域の活性化や生涯学習の推進を図った。令和6年度は、11月9日(土)・10日(日)に運動系団体や文化系活動団体の発表、模擬店、子ども向けイベントを開催し、参加者は2,753人であった。